

第3日目(2009/04/09)

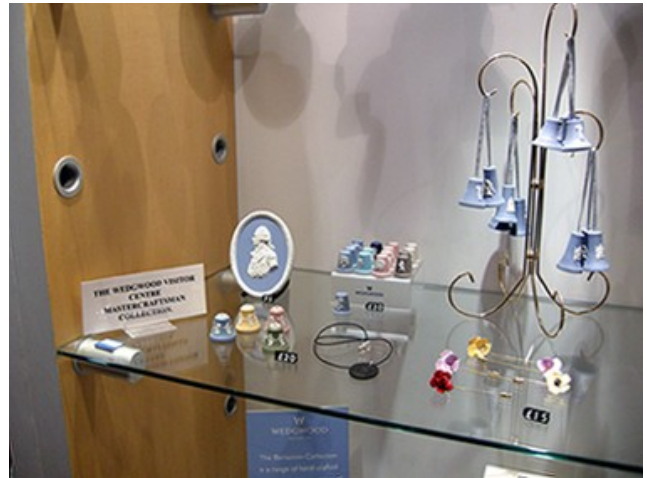
終日バス移動 - 日本人の好きな観光名所各所

9時に出発して、まずは2時間程度移動してストックオントレントに。  
ここにはウェッジウッドのビジターセンターがあります。

最初にウェッジウッドの説明ビデオを見て、その後1時間買い物タイム。  
ビジターセンター併設で買い物コーナーも当然あります。

商品入れ替えの時期ですかね、ちょっと心惹かれる物がなかったのです。  
デザインが古いという事で激安商品があったのでそれを買いました。日本で買うといくらなんですよ。





ビジターセンター内には簡単な食事も出来る施設があり、ここで昼食。  
パスタとスープ、ゼリーという簡単なもの。

次に1時間移動して、ストラトフォード・アポン・エイヴオンへ。  
シェークスピアの生家のある街です。



庭園とかもあって入場出来るようですが、まあそこまでの興味はないので。(笑)

それよりもイースターが近いので、交差点の中にある花壇にはウサギの形に  
整えた物がありました。近寄れない場所なので何で出来ているかは不明。



時間が余ったので、チョコチョコとウインドウショッピング。  
日本では全く違う味らしいレッドブル・エナジードリンクを購入。  
また、買わなくて後々後悔したのがスコッチウイスキーのシングルカスク物が  
何故かたくさんある酒屋。年数は長くても15年程度だけど品揃えがよくて。買えばよかった。

次に行ったのはアン・ハサウェイコテージという事でシェークスピアの妻の家。  
ここも庭園があり入場出来るんですが、やっぱりそこまでの興味はないので。(笑)  
近くの小川とかをぶらぶらしていました。



この日はこれで観光は終了してメインイベントであるマナーハウスへ。  
貴族の屋敷を改造して宿泊出来るようにしたものだそうです。  
こういうマナーハウスはイギリス各地にあるそうで、翌日以降も各所で見ました。

到着して、夕食時に集まるホールの場所を教えて貰ってから各部屋へ。  
夕食まではかなり時間があるので、庭や部屋などの散策。

建物は古いんだけど、最低限のセキュリティはさすがにちゃんとしてました。庭も建物もとにかくでかい。



離れもあり、そこにも宿泊出来るようです。いくらですかね。



僕らが泊まった部屋もそら広いです。



玄関ホールから部屋に行く途中にある  
ソファールームや夜営業するバーなどもあります。



夜はビーフ料理。飲み物は僕はやっぱりビール。(笑)  
一応マナーハウスでのディナーという事でビジネスカジュアルな  
服装で行ったのですが、ジーパンでもよかったような。

夕食が終わって、部屋でくつろいでからバーのある部屋に。  
僕は初めて英語で酒とかみさん用のソフトドリンクを注文。  
何とか喋る事は出来るのだけど、聞き取りが厳しいですね。  
値段がうまく聞き取れず、メモに書いて貰いました。11ポンドなり。

本当にイギリスは物価が高いや。(´Д`;  
不足しているとは思わなかった。

で、何とか支払いしてバーコーナーでじっくりと久々にウイスキーにありつけました。  
ちなみにどこにでも置いてあると言われるグレンモレンジ(GLENMORANGIE)の  
オフィシャル(10年)でした。※グレンモランジと発音すると通じるそうです